

平成21年度教育委員会事務点検評価(平成20年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

				整理番号	13	
事務事業の名称	スポーツボランティア制度運営事業		担当部課	教育委員会生涯学習部体育課		
			電話番号	04-2953-1111 内線5711		
実施期間	平成19年度 ~					
総合振興計画における位置づけ	5章	人を育み文化を創造するまちをめざして	実施計画(H20~22)事業名	スポーツボランティア制度運営事業		
	1節	生涯学習の振興				
	2項	スポーツ・レクリエーション活動の促進		個別計画等の名称		
	1目	スポーツ・レクリエーション活動の機会の拡充				
実施根拠						
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務+自治事務					
事業開始の背景等	市民のスポーツニーズの高まりに呼応して、スポーツに親しむ機会の拡充を図るためには、これまでの「するスポーツ」や「みるスポーツ」に加え「ささえるスポーツ」の重要性が高まってきていることを背景に、スポーツボランティア制度を創設したものである。					

2 事務事業の目的・内容

目的	生涯スポーツの振興を目指して、ささえるスポーツの担い手としてのスポーツボランティアの普及と活動の促進を図る。	
対象	中学生以上で「支えるスポーツ」に協力できる方	
活動内容	スポーツボランティア協力できる者を登録し、要請に応じて、スポーツの指導や大会に派遣する。派遣の対象としては、スポーツの指導とスポーツ大会等へのスタッフとしての参加に大別される。平成20年度の派遣は、3件、5名を市民体育祭及び民間等のスポーツ活動に派遣した。	
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価)	市民に対し、広報及びチラシ等でボランティア登録並びに派遣の周知を図るとともに、企業・大学への説明や各スポーツ団体に周知を図る。
	内容の見直し	
環境配慮		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他( )	

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	18年度	19年度	20年度	21年度	目標値の根拠・考え方	
(実施動向指標)	スポーツボランティア登録人数	目標値	人		15	20	25	平成19年度創設の制度であるので、目標値は、当面は前年度を下回らないものとする。	
		実績値		15	15				
		達成率			100.0%	75.0%			
	スポーツボランティア派遣人数	目標値	人		0	10	15		平成19年度創設の制度であるので、目標値は、当面は前年度を下回らないものとする。
		実績値		0	5				
		達成率				50.0%			
(成果指標)		目標値							
		実績値							
		達成率							
		目標値							
		実績値							
		達成率							

4 事業費

		区 分	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
経費	直接費	予算額		千円		0	24
		決算額		千円	0	0	5
		財源内訳	国県支出金	千円			
	その他特定財源		千円				
	一般財源		千円				5
	人件費	従事職員数	人		0.01	0.01	
		人件費(従事職員数×平均給与)	千円	0	90	92	
事業費計(直接費決算額+人件費)		千円	0	90	97		
効率性指標	指標名	スポーツボランティア登録人数	人		15	15	1単位当たりの経費
	単位コスト	参加者一人当たりの経費	円		6,000	6,467	

5 事務事業の評価

項目	評価の視点	評価	評価理由
個別評価	必要性	4	市民のスポーツ振興を図るうえで、「するスポーツ」や「みるスポーツ」に加え「ささえるスポーツ」の具体的方策として、スポーツボランティアを制度化したことの意義には高いものがある。
		4	
	有効性	3	平成19年10月から制度を施行したことから、ボランティアの登録も少なく、派遣の実績もないが、市民スポーツの振興に有効に機能するものである。
効率性	手段の最適性 ・コスト効率の向上 ・受益者負担の適正化 ・執行体制の効率化など	3	ボランティアによるスポーツ活動の支援が業務であり、市の経費負担はボランティアに対する保険料のみであることから、ボランティアの登録と派遣が増えることにより、費用対効果の面で高い効率性が期待できる。
		3	
		<5段階評価>    5:極めて高い    4:高い    3:普通    2:低い    1:かなり低い	
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了		
	市民等への周知により一層取り組み、ボランティアの登録者の増加を図るとともに、スポーツ・レクリエーション団体をはじめとして、学校や企業等へボランティアの活用を働きかけ、派遣の拡大を図っていく。		

6 その他(学識経験者の意見等)

必要度並びにニーズの高い事業と考えられる。スポーツボランティアは活用される可能性が高く、登録の基準や必要な資格の明示などをしっかり行うことと、活動の場の開拓を必要とする。両方を進める中で、確実に利用度は高まって行くと思われる。
---